

かんきょう かんが  
環境について考えよう

かんきょう  
環境ウィーク トライ&アクション

謙虚な人のところに近寄ってくる。

幸運の女神は「笑顔」と



王貞治



「環境ウィーク トライ&アクション」として、先週の学校だよりでもお伝えしたように、5月26日(金)に環境学習を行いました。環境に対する意識を高めることがねらいです。

ランチルームに集まり、学年一斉で地球環境についてクイズなどを交えながら学習会を行っていた学年や、SDG'sをテーマにした双六に取り組みながら環境について考える学年がありました。様々な工夫を凝らして、『笑顔』で学びながら、環境に対する意識を高めました。

その後、運動場に出て、草抜きを行いました。曇り空で、降雨が心配されましたが、何とか持ちこたえて実施することができました。皆さん、涼しい環境の中で、長い時間を掛けて一所懸命に取り組んでいました。

上：環境クイズの様子  
中：SDG's双六の様子  
下：運動場の草抜きの様子



そなえ うれい な  
備えあれば憂い無し

ひなんくんれん  
避難訓練

5月19日(金)に今年度初めての避難訓練を行いました。北館ランチ調理室付近から火災が発生したと想定して、生徒は活動場所からの避難や避難場所での集合・点呼集約の訓練を行いました。この日は雨天であったため体育館に避難しました。各学年とも協力しながら静かに素早く移動し、整列時には、校長先生や係の先生から「命を守るための大切な行動」についての話を真剣に聞く様子が伺えました。



あき りっぱ みの  
秋には立派に実りますように

えんげいかつどう  
PTA園芸活動

5月23日(火)に、PTAの役員・委員の皆様でサツマイモの苗を花壇に植えました。雑草が生えないように黒いシートをかけ、間隔を空けながら苗を植えていきました。収穫時期は10月頃の予定です。昨年は、大変豊作でした。今年も順調に育ってくれることを願っています。

今年度も生徒が美しい環境の中、皆さんが『笑顔』で学校生活を送ることができるようPTAの方々にご協力をいただきながら、校内の花壇整備に努めていきたいと思ひます。



む向きをそろえて、ひとつずつサツマイモの苗を丁寧に植える様子





Live with a Smile

# 笑顔で生きる

白山中 学校だより  
令和5年 5月25日

## せいと しゅうかい 生徒集会にて

5月8日(月)の生徒集会にて、生徒会執行部が全校生徒の前に立ち、二つの事柄を告知しました。

一つ目は、「生徒会スローガン」についてです。生徒会は、今年度のスローガンを『千載一遇 ~ 今、奇跡は目の前に ~』としました。そこ

には、「一人一人、ここにいる『奇跡』に気が付き、一日一日を大事にして、一年を過ごしてほしい」という意味が込められています。新型コロナ対策も緩和され、少しずつ以前の学校生活を取り戻し、楽しく『笑顔』で過ごせているように感じます。コロナ禍は、「今ある生活が、決して当たり前ではない『奇跡』の日々である」ということを、我々に教訓として残した一面もあったように思います。生徒会執行部の熱い思いを受け止め、皆さんでよりよい学校生活を作り上げていきましょう!

二つ目に、「緑の募金」活動の説明がありました。毎年この時期に実施されている活動で、生徒会執行部が寸劇を交えて、活動への協力を呼び掛けました。全学年の生徒がしっかりと話に耳を傾け、時折楽しみながら『笑顔』が見られる場面もありました。緑の募金についてより深く理解できた心温まる告知でした。



寸劇を交えて、全校生徒に募金をPRする執行部

## しんりん まもり 森林を守り育てるために 「緑の募金」活動

森林は水を育み、山崩れを防ぎ、また、二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化の防止に役立っています。直接、感じづらいことかもしれませんが、私たちの暮らしの安心と安全を支える大切な存在であることは言うまでもありません。

私たちに様々な恩恵を与えてくれる森林や緑を豊かにするために、生徒会執行部と環境委員会がコラボレーションして『緑の募金』活動に、5月9日・10日・

11日の三日間で取り組みました。その結果、合計5,944円の募金が集まりました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。



募金箱を持つ生徒会執行部と主体的に協力を申し出た環境委員のまわりに、たくさんの生徒が駆け寄り募金をしていました。

かんきょう

かんが

環境について考えよう

5月26日「環境学習」に取り組みます!!



来月6月5日は「世界環境デー」です。

日本でも、6月の一ヶ月間を「環境月間」として、全国で様々な取組がされています。名古屋でも、毎年、「環境デーなごや」として様々な取組がされたり、5月下旬から6月上旬の2週間を「環境学習ウィーク」と位置づけられています。

世界気象機関(WMO)から「気候変動の影響に関する報告書」が令和5年4月に公表されました。直近8年間の世界平均気温が観測史上最高を記録し、干ばつや洪水、熱波などの被害が世界各地で増加しているとのことでした。


近年、日本でも、夏には、37度を超える日が増えたり、ゲリラ豪雨の被害が続出したり、逆に雨が降る日が減少したりと、異常気象の発生に不安を感じずにはいられない状況です。

今年の桜の開花時期が早かったのも、こうした影響ではないかと言われています。さらには、先週、5月だというのに、35度近くになったのも記憶に新しいところです。

「ハチドリのひとしずく」という南アメリカ先住民の物語を紹介します。

森が燃えていました  
 森の生き物たちは、我先にと逃げていきました  
 でも「クリキンディ」という名のハチドリだけは行ったり来たり  
 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは  
 火の上に落とすしていきます

動物たちがそれを見て  
 「そんなことをして、いったい何になるんだ」と言って笑います  
 クリキンディはこう答えました  
 「私は、私にできることをしているだけ」



ハチドリとは、アメリカに生息していて、世界の鳥類の中で最も体が小さい鳥の一つです。小さい種類だと、体長は5センチ程度、体重は2グラム程度しかありません。そんなハチドリが、クチバシで運ぶ一滴がどれだけ小さなしずくなのか、想像することは簡単です。それでも、ハチドリは、小さなひとしずくが、大きなうねりになることを信じて、自分ができる精一杯のことをしました。まさに、環境への取組も、こういうことではないでしょうか。

「かけがえのない地球」を守るために、今一度、自分として、どんなことができるのか？ 一人一人が真剣に考え、自分に可能な行動を実践してみたいと思います。どんな小さなことでも継続していくことが、やがて必ず大きなうねりとなり、変化を起こすはずですよ。

明日の「環境学習」や、来月の「環境学習ウィーク」、「世界環境デー」等を、自ら一歩を踏み出す一つのきっかけとしてもらえたらと思います。